

### 《研究課題名》

原発狭窄を伴う Stage B 食道癌に対する緩和的放射線療法および化学放射線療法に対する後方視的研究

### 《研究対象者》

2015 年 1 月以降、滋賀医科大学医学部附属病院において緩和的放射線療法および化学放射線療法を行った食道癌患者

### 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（ 8 ）の問い合わせ先へご連絡ください。

### （ 1 ）研究の概要について

#### 《研究課題名》

原発狭窄を伴う Stage B 食道癌に対する緩和的放射線療法および化学放射線療法に対する後方視的研究

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日 ~ 2026 年 12 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学 消化器内科 松本寛史

### （ 2 ）研究の意義、目的について

#### 《意義》

遠隔転移を伴う Stage B 食道癌において、原発狭窄による通過障害に対しての緩和的放射線療法 (CRT) の報告は少ない。特に免疫チェックポイント阻害薬など治療の選択肢が増えた最近の報告はなく、その現状を調査するのは有意義である。

#### 《目的》

当院における緩和的放射線療法および化学放射線療法の治療成績や安全性について、後方視的に現状を調査する。

### （ 3 ）研究の方法について

#### 《研究の内容》

遠隔転移を伴う Stage B 食道癌に対して緩和的放射線療法および化学放射線療法を施行した症例について、電子カルテから必要な情報を抽出、解析する。

### 《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

本研究では試料を扱わない。年齢・性別・経口摂取が可能かどうか、栄養サポートの必要性といった患者背景や、使用レジメン・放射線照射量・治療期間・その後の治療の有無・胃瘻造設の有無といった治療内容の情報を利用する。

### 《試料・情報の管理について責任を有する者》

消化器内科 松本寛史

### （４）個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

### （５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

### （６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

### （７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

### （８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 消化器内科 井上博登

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2217

メールアドレス：inohiro@belle.shiga-med.ac.jp